

平成 24 年 6 月 29 日

お客さま各位

一関信用金庫
理事長 及川 弘人

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について (平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月)

平素は格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当金庫の「地域密着型金融推進計画」に基づく、平成 23 年 4 月から平成 24 年 3 月までの取組み状況についてご報告いたします。
当金庫は、東日本大震災の復興支援並びに地域経済の活性化を通じて社会に貢献していくことが、地域金融機関としての使命であると認識し、今後も「地域密着型金融」の強化に積極的に取り組んでまいります。



一関信用金庫

・ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目	取組方針	平成 23 年度実績
創業・新事業支援	<p>政府系金融機関との協調による支援態勢の強化を図ります。</p> <p>産学官の連携に向けた取組みを推進します。</p> <p>創業等支援融資制度を見直し、利用推進を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 業務提携している日本政策金融公庫と連絡協議会を定期的開催し、情報交換に努めました。 ➤ 一関市との連携強化並びに信用金庫業界の連携のもと、自動車製造関連企業の立地への支援に取組みました。 ➤ 平成 23 年度 創業・新事業支援融資実績 (9 件 369 百万円)
経営改善支援	<p>中小企業診断協会岩手県支部との連携強化を図り、金融面に留まらない経営改善指導を行います。</p> <p>国、県の中小企業支援施策の積極的活用を推進します。</p> <p>本部支援担当と営業店の連携強化による経営支援機能の拡充を図ります。</p> <p>経営改善計画策定に係る相談・指導が行える人材の養成に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 経営支援部署の専担者が取引先企業への訪問による経営改善に向けた資金繰り指導を行い、経営改善計画策定指導実施しました。 経営改善計画策定先数 7 先 ➤ 東北経済産業局より講師を招いて、中小企業支援施策研修を開催しました。 営業店長・担当役席 34 名参加(10 月 12 日) ➤ 職員の経営改善計画策定能力向上を目的に外部講師を招き、コンサルティング機能発揮並びに中小企業経営改善支援実務研修を実施しました。 受講者数 98 名(6 月 11 日) ➤ 岩手県信用金庫協会主催の中小企業経営改善支援研修へ 3 名派遣致しました。
事業再生	<p>岩手県中小企業再生支援協議会との一層の連携強化を図ります。</p> <p>新たな再生手法の研究の為の人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 平成 23 年度の中小企業再生支援協議会への新規の持ち込み案件は無いものの、東日本大震災の被害を受けた企業中心に再生計画策定の途上先は 5 先あり、中小企業再生支援協議会と連携強化し継続して再生支援を行っております。
事業承継	<p>各種研修会等へ積極的に参加し、事業承継に係る専門知識・ノウハウの習得に努めます。</p> <p>「経営塾」を開塾し、次世代の若手経営者等の育成を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 次世代経営者の育成支援を目的に「いちしん経営塾」を平成 21 年 5 月に立ち上げ、平成 23 年度の 3 期塾生数 27 名 勉強会、企業視察、ビジネスマッチ視察等計 5 回開催 ➤ 経営塾主宰により外部講師招聘による公開セミナー開催致しました。 平成 24 年 3 月 参加者数 120 名

事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項目	取組方針	平成 23 年度実績
目利き能力の向上をはじめ事業価値を見極める融資 (不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底)	外部研修に職員を積極的に派遣し、目利き能力の向上に努めます。 A B L (動産・債権譲渡担保融資)の活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 東北地区信用金庫協会主催の「目利き力養成講座」に 4 名派遣し目利き能力向上に努めました。 ➢ FP の資格取得を推進し平成 23 年度は AFP3 名・FP3 級 4 名が資格取得しており、職員の能力向上を図っております。 ➢ 中小企業診断士を養成するため、中小企業大学校の中小企業診断士養成課程へ 1 名派遣しております。 ➢ 東日本大震災復旧資金の無担保のプロパー制度を創設しました。 活用実績 5 件 36 百万円
中小企業に適した資金供給手法の徹底	地域の活性化、街づくりを支援する融資商品を創設し、利用推進を図ります。 セーフティネット制度の啓蒙と、利用推進を図ります。 シンジケートローンへの参画に取組みます。 農業事業者向け融資の利用促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 平成 23 年度は東日本大震災の被災者への支援対応(直接被害・間接被害)を最重点に資金の供給を行って参りました。 東日本大震災関連資金の取扱実績(平成 24 年 3 月 31 日現在残高) 289 件 3,504 百万円 ➢ 農業事業者向け融資「にない手ローン」 平成 23 年度 取扱実績 2 件/7,650 千円 ➢ シンジケートローンの平成 23 年度取扱実績 2 件/1,600 百万円 ➢ 金融円滑化法の趣旨に則った中小企業向け貸付条件の変更等の取扱実績 申込受付 547 件/8,604 百万円・実行 485 件/7,087 百万円・審査中 2 件/18 百万円(平成 21 年 12 月 4 日～平成 24 年 3 月 31 日現在)

用語解説

シンジケートローンとは、企業の資金調達ニーズに対し複数の金融機関が協調融資団を組成し、同一の契約書による貸出等の信用供与を行う融資形態をいいます。

・地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目	取組方針	平成 23 年度実績															
地域の面的再生	<p>商工会、商工会議所との連携を強化し、地域活性化につながる金融サービスの提供をはじめ、各種事業への参画、人的貢献等を通じた地域支援に取り組めます。</p> <p>業界上部団体、関連機関との連携を密にし、地域活性化に寄与する情報を提供します。</p> <p>地域を担う経営者への支援強化を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 東北地区信用金庫協会主催による「ビジネスマッチ東北 2012 春」(平成 24 年 3 月開催)に当金庫取引先 5 社が出展しました。 商談成約件数 5 件、商談継続中 25 件(平成 24 年 3 月末現在) ➢ 一関市のまちづくりプロジェクト委員に参画、一関市街地整備に関する提言書を一関市に提出致しております。委員 1 名を派遣 ➢ 日本政策金融公庫(農林水産事業)と平成 23 年 2 月 25 日に関連分野の業務協力に関する覚書を締結致し、また平成 24 年 1 月には同公庫主催である『農業経営アドバイザー』試験に合格者 1 名を出しました。 															
地域活性化につながる多様なサービスの提供	<p>多重債務問題への対応として、地公体との連携強化を推進いたします。</p> <p>外部専門家による各種セミナーを開催し、公的制度等に関する情報提供を行います。</p> <p>若年層及び高齢者への正しい金融知識の普及と金融防犯意識の啓蒙を致します。</p> <p>地球環境にやさしい商品・サービスの提供を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 相互扶助・非営利の理念に基づく協同組織金融機関として、多重債務問題解決に向けた相談機能の発揮が重要であると認識し取り組みました。 本部融資部内の専門担当者が営業店に出向き、営業店担当者とともに顧客の多重債務問題解決を支援しております <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">平成 23 年度</td> <td style="width: 25%;">相談件数</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">40 件</td> <td style="width: 15%;">解決件数</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">28 件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>融資実行件数</td> <td style="text-align: right;">4 件</td> <td>融資実行金額</td> <td style="text-align: right;">24,040 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>解決率</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">70.00%</td> </tr> </table> <p>平成 23 年 6 月 20 日に当金庫の多重債務問題の解決に資する優れた取組みに対し、自見金融担当大臣より顕彰を拝受いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ A T M の手数料『いつでも 0 円』を導入。当金庫のカードを当金庫の A T M で利用した場合は時間帯に拘わらず、手数料を一律に無料と致しました。 ➢ 障がい者・高齢者等に配慮した取組みを実施しております。 ハンドセット機能付き A T M を 6 店舗に設置し、合計で 9 店舗となりました。 全店に筆談ボード・杖ホルダーの設置・障がい者の窓口振込手数料の優遇を行っております。 	平成 23 年度	相談件数	40 件	解決件数	28 件		融資実行件数	4 件	融資実行金額	24,040 千円		解決率	70.00%		
平成 23 年度	相談件数	40 件	解決件数	28 件													
	融資実行件数	4 件	融資実行金額	24,040 千円													
	解決率	70.00%															

・協同組織金融機関としての取組み

項目	取組方針	平成 23 年度実績
身の丈にあった収益管理やITの活用等を含めた態勢整備	信用コストを適正に加味した貸出金利の設定など収益管理態勢の整備を図ります。 ITの活用促進により顧客サービス機能強化に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 顧客の利便性向上の為に一部ATMコーナーの運用時間を拡大致しました。 ➢ 顧客の利便性向上の為に、「国税のダイレクト方式による電子納税」の取扱いを開始致しました。
利用者からの評価を業務に適切に反映するための態勢整備	お客様のニーズに対応した商品、サービスの提供を行うことで地域の皆様に安心してご利用頂ける金融機関を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ➢ お客様満足度(CS)調査を平成24年2月に実施し、調査結果にもとづくお客様のご意見・ご要望を分析し公開しております。総代会においても主なご意見を発表致しました。 ➢ お客様にやさしい店舗を目指し、全店舗入り口のスロープ化を進めています。 ➢ 全店舗窓口・ATMコーナーにフリーコメント記入方式のご意見・ご要望カードを設置しております。
ガバナンスの強化	総代会の機能向上に向けた取組みを推進します。 今後もより一層地域の皆様に分かりやすい情報の開示に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 総代会開催前に、各地区の総代を対象に役員が決算内容、事業計画等を説明する地区別懇談会を開催し、ご質問、提言等は総代会にて発表しました。 ➢ 半期ディスクロージャー誌を発行するとともにホームページにも掲載しました。 ➢ 総代向け情報誌「しんきん通信」を発行しました。
リスク管理態勢の充実	ALM委員会を通して統合的リスク管理の把握に努めます。 信用リスク、市場リスク管理態勢の充実に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 東日本大震災を踏まえ拠点の2店舗に自家発電装置を設置しました。 ➢ ALM委員会は常勤理事会の参与機関として顕在化しているリスクに加え潜在的なリスクも把握するよう取り組みました。 ➢ 運用、調達とも金利リスク計測手法の精緻化を図り、信用リスクは、計測対象に債券を追加しました。
法令等遵守の徹底	金庫内のコンプライアンスの意識を高め、徹底する庫内風土の醸成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 平成24年3月に職員の不祥事件が発覚しました。当金庫のコンプライアンス態勢が機能しなかったものと役員一同猛省し、再発防止策を作成しました。 ➢ 役員を対象に外部講師によるコンプライアンス講習会を実施するとともに各課店による勉強会を年4回実施いたしました。